

## 自己評価報告書

平成23年 4 月 4 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2012

課題番号：20520611

研究課題名 (和文)「海の人事録」にみる近代オスマン帝国社会の変容

研究課題名 (英文) The Social Changes in the Modern Ottoman Empire  
as seen from the Marine Personnel Records

研究代表者

小松 香織 (KOMATSU KAORI)

早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授

研究者番号：10272121

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：西アジア・イスラーム史

## 1. 研究計画の概要

本研究は、オスマン帝国において海洋活動にたずさわった人々の出自（民族、宗教、出身地、社会階層等）を新たに発掘した人事関係等の史料を分析することにより明らかにし、近代オスマン帝国の社会構造を「ヒト」を核として見直そうと試みるものである。この目的を達成するために、(1)トルコ共和国総理府オスマン朝文書館所蔵の『船舶通行許可台帳』、(2)イスタンブール海軍博物館所蔵の『人事記録台帳』、(3)トルコ海運公社文書館所蔵の『給与台帳』や人事・年金支給関係書類という3つの異なるカテゴリーに属する史料群をとりあげ、それぞれについて「ヒト」の記録を出来るだけ丁寧に掘り起こす作業を行っている。

## 2. 研究の進捗状況

(1)『船舶通行許可台帳』は10冊からなる。このうちムスリム船主に関係する第6、第8、第10の3巻については筆写および複写により必要とおもわれる部分の写しを入手した。残りの台帳は、レアーヤーに関係する6冊とロシアに関する1冊であるが、これらについては閲覧するにとどまっておき、本研究に利用するか否かは未定である。この他にオスマン朝文書館ではジェヴデト分類の海軍史料が本研究上有用であることがわかったので、特に18世紀から19世紀初頭の造船、人材徴用に関する文書を中心に、閲覧と複写による史料の収集を同時に行っている。

(2)海軍の『人事記録台帳』は数が膨大なうえ、形式が多種多様なため、全体像の把握が難しく、どのような情報が統計資料として有用であるかの判断に苦慮している。現段階では当初の計画に遅れが生じている。しかし何

冊かの台帳については調査を終え、データベース化し成果は研究報告に反映されている。(3)『給与台帳』は研究者が以前作成した総目録にもとづいて注目すべき台帳をピックアップし精査しているところである。人事記録簿については全8冊の台帳の全容を把握するとともに、ほぼすべての台帳についてデジタルカメラによる撮影を完了した。

(1)～(3)で収集したデータを整理し、統計などをもって分析を行うと同時に、こうした一次史料以外にも先行研究や二次史料など参考文献の収集およびトルコ共和国の大学・研究機関において研究成果の公表や情報の交換も積極的に行っている。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

3年間にわたって毎年夏期に行った現地調査により、ほぼ計画どおりに一次史料を収集することができた。

## 4. 今後の研究の推進方策

(1)については、ほぼ史料の収集を終えているので、統計の作成と分析の作業に入る予定である。

(2)については、前述の事情から本研究期間中どの程度有用な情報が得られるかは不確定である。現在集めた史料の精査にとどめることも考えられる。

(3)については、デジタルカメラで撮影した史料を読み、内容を整理してデータベース化するとともに、それを分析・考察の上一定の結論を導き出したい。

(1)～(3)の成果を統合して「ヒト」の記録から近代オスマン帝国の社会構造の分析を行うという本研究の目的の達成に努めると同

時に、これまでの段階で、新聞・雑誌といった定期刊行物も有用な史料たりえることがわかったので、今後は当時の新聞記事の収集も行い、これらを補完史料として用いることとする。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- ① 小松香織「オスマン帝国末期の海洋活動と黒海沿岸民」『歴史人類』38号、2010年、1-23頁。査読あり。
- ② Komatsu Kaori, “Yakınçağ Osmanlı Denizciliği ve Karadeizliler”, *Toplumsal Tarih*, No.190, 2009, pp.26-33. 査読あり。

[学会発表] (計 2 件)

- ① Komatsu Kaori, Osmanlı İmparatorluğu'nda Vapurculuk ve Milliyetçilik, The First Global Conference on Innovation in Marine Technology and the Future of Maritime Transportation, November 24, 2010, Istanbul/Turkey.
- ② 小松香織「海運史料にみる近代オスマン社会の変容—オスマン帝国末期の海運と黒海沿岸民—」(日本オリエント学会第50回大会、2008年11月2日、筑波大学)

[図書] (計 1 件)

- ① Komatsu Kaori, Osmanlı İmparatorluğu'nda Vapurculuk ve Milliyetçilik, Union of Chambers of Turkish engineers and Architects - The Chamber of Marine Engineers of Turkey, *The First Global conference on Innovation in Marine Technology and the Future of Maritime Transportation*, 2010, pp.7-14.